

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901175		
法人名	株式会社コスモス		
事業所名	グループホーム太陽「くだもの」		
所在地	旭川市東旭川共栄29-12		
自己評価作成日	平成25年3月10日	評価結果市町村受理日	平成25年5月9日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_2011\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=0172901175-00&PrefCd=01&VersionCd=022](http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0172901175-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年4月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

大雪山連邦が施設から一望できる敷地1000坪に施設他、約600坪の菜園があり、野菜作りや花の育成を楽しみ、穏やかに過ごす事が出来ます。収穫した野菜は新鮮なうちにお惣菜として並べられ、美味しいと大変喜ばれています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

定期的に発行する「太陽通信」を町内会へ回覧したり、家族等に送付して七夕祭りや設立10周年行事の開催等の行事参加の様子や職員一人ひとりの紹介記事の掲載などを行い、認知症に対する理解や広報に努めている。また、近隣の保育園児が敬老会に参加し、交流を深めたり、高校生のボランティアの受け入れ等事業所の持つ機能の地域への還元や地域の人々による民謡やダンスのボランティアの受け入れなど地域との協力・連携に努めている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に支えられ、一つの家族になる事を目指し、介護手帳を理解し、各自自覚を持って理念にそった支援をしています。	事業所独自の理念をつくりあげ、ミーティングや全体会議を通じて話し合い、その理念を共有して実践につなげている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会しており、親交を深める焼肉行事に参加したり、当事業所の行事案内状を出しています。近隣の保育園児の散歩の様子を見るのを楽しみにしています。	町内会の焼肉等への行事参加や開設10周年行事への参加案内等で地元の人々との交流に努めている。また、「太陽通信」の地域への配布等事業所の持つ機能の広報に取り組んでいる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方に太陽通信を配布したり記念行事のご案内を出して参加してもらってグループホーム及び利用者との触れ合いを持つ事で認知症の理解を深めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のご連絡をご家族や地域の方々呼びかけています。	運営推進会議では、利用状況や日常生活の様子など具体的に話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	今後は、運営推進会議を年6回を目安に開催できるよう検討しているので、その実践に期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点や不明点を確認したりしています。	市担当者や包括支援センター職員と協力関係を築くように日常業務を通じて取り組んでいる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関に施錠はしていません。身体拘束に関しても、ご本人、ご家族の理解と職員全員が最低限危険のないように周知し、身体拘束がないように努めています。	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を内部研修会開催等で正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修で学び一人一人自覚を持ち介護しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人制度については、テキスト等で学んでいます。利用を必要としている入居者さん家族がいませんが、今後必要となった時に勉強会等を通して対応できるように行なっていきます。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約時、改定時には十分口頭、文書で説明し、署名捺印を頂いている。今後の健康状態で医療行為が必要になった時は、本人、家族に入院になる事を説明し納得頂いています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関の出入り口に投書箱を設置し、入居者さん、家族の意見や要望を把握できるよう月1回確認。職員会議で話し合い、運営に反映させるように努めています。又家族へのアンケート調査も行なっています。	家族や来訪者等が意見や要望、苦情等を言い表せるように投書箱を設置して、その機会を設けている。また、事業所独自の家族アンケートを実施し、家族のサービス利用の満足度を把握してサービスの質の向上に活かしている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者・施設長が出席した全体会議を行い運営に関する基本方針、提案を行なっています。職員からの率直な意見を聞き、出来る事は反映させています。他職員同士の意見交換を行い実現できるようにしています。	全体会議やカンファレンスを通じて、職員の意見や要望、提案を聞くよう機会を設け、運営に反映できるように努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昇進、昇給の提案の実施。資格取得の奨励、資格取得のための勤務体制、資格手当での支給等、介護の専門職として責任が持てるように職場環境、条件の整備に努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の希望する専門書、月刊誌を購入している。又、積極的に介護福祉士、ケアマネの資格取得が出来るような環境づくりもしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のGHの行事にケアマネ、主任、職員が出席して意見交換、入居者の紹介など地域ネットワーク作り支援に努めています。又、社長、施設長が他のGHと介護を取り巻く状況の意見交換にも取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネが情報を把握し介護職員と共有している。介護職員は、居室担当者職員が、一番身近で接する機会が多く、ご本人の身の回りのお世話や会話、傾聴などで不安の無いよう、安心の関係づくりを心掛けています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス担当者会議を行いご本人とご家族の話をお聞きし全ての介護職が心がけて介護できるようにしています。介護職員は、ご本人が安心して暮らして頂けるよう居室前に担当者の名前を明記しご家族との接点を保てる様になっています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護職員はご本人のアセスメントを理解し、ご本人、家族が必要としている支援を職員は情報収集や傾聴しケース記録などで共有しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の長年積み上げてきた経験や、知恵など受容する事により、歩み支えある立場である事を理解し接しています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の中にはご高齢の方や、遠く離れた方もおり、安心して頂けるようご本人の変化や近況など報告し、問題があれば一緒向き合い、共に支えていく関係を築いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設に入る前から付き合いある友人や、長年かかりつけの病院など、本人が安心して継続出来るよう支援しています。	馴染みの人や場所との関係が途切れないように、継続して医師の診察や近隣散歩など支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	いくつかのグループに分かれてコミュニケーションとられていますが、お互いの居室を行き来したり、共同で作業をして下さったり、調子が悪い人が居れば、心配し職員に伝えに来てくれたりします。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを退去されても、ご家族から電話が入ったり、病院などでお会いし、状況を聞き良い関係を保てるように努めています。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や意向を傾聴し家族の協力を得ながら意向に近づけるべく努めています。意向や希望の把握が困難な方には、家族からの助言を聞き、たずさわる様心掛けています。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、全体会議やカンファレンスを通じて職員間で共有して本人本位に検討している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や本人に以前どのように暮らしてきたかを聞き、編み物が出来、歌番組が好きだ、細かい作業するのが好きだと話されればそれに合った事を提供し、趣味を楽しんで頂いています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自ら共同生活を出来ない入居者さんには、体調を見極め食事やラジオ体操、入浴など個人のペースに合わせ支援しています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族やご本人の希望や意向をお聞きすると共に現場で直接介護する介護員に話を聞いたり、カンファレンスを開いて介護計画に反映しています。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人・家族やカンファレンス、モニタリングを通じて介護計画に職員の意見を反映している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人の行動記録や情報の記録や体調管理などを一冊にまとめ、経過や現状などわかりやすい様にしており、気づきなど直ぐ記入出来るよう、ケース記録は手書きにしているので、情報の共有に役立っています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族のご希望があれば、一緒に食事や宿泊をして頂いたり、状況やニーズのに対応できる支援やサービスの多機能化に努めています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練に地域の方に参加して頂いたり、町内の焼肉パーティに参加させて頂いたりして楽しく暮らせる支援に努めています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望により、昔からのかかりつけで信頼できる病院、医師の診察を受け、健康状態に応じ、ご家族と連絡を取り、検査や手術など適切に支援しています。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、医師の往診や通院への支援等の医療連携で、適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化や、日々の介護の中で気づいた変化など、1週間に1回訪問する医療相談の看護師に相談し、主治医に報告するか又は受診し、症状が悪化しないよう初期対応に努めています。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人が安心して入院生活が過ごせるようにアセスメントを提供して入院時のご本人の今までの状態の説明、ご家族との連携を取りながら病院のSW・医師との話し合いを設けています。ホームの受け入れ対応を医師・ご家族のカンファレンスに同席させて頂くようにしています。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時の説明で、必ず訪れる重度化や終末期に、医療行為や食事が摂れず、ベグを希望された時や入院が30日以上治療長期療養されてもホームでの生活が困難な時には、ご家族、医師、ご本人の希望を含め対応しています。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族と話し合い、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年2回の避難訓練で、応急処置や救急車が到着するまでの対応を全員ができるように支援しています。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回夜間を想定した訓練を行なっています。近隣の保育所と避難場所の協力体制を築いています。	スプリンクラーや火災報知器、通報装置等の設備を完備し、定期点検も行われている。また、消防署の協力を得ながら年2回夜間を想定した避難訓練を実施している。	今後は、避難後の避難場所の確保を検討しているので、その実践に期待しています。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重しながら尊厳や誇りを損なわないように気遣いながら対応するように心がけています。	接遇等の内部研修を通じて、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように職員間に周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	目線を合わせ向き合い、言葉・表情・行動を引き出せる声掛けや傾聴を心かけ、本人の意向や希望が伝えられる様に支援しています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	居室で過ごされたい方や、仲間同士居室で語り合う方もいらっしゃるため、個人の生活スタイルを崩さない様、自分達の時間を大切にすごされる様支援しています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容師さんに希望があれば、パーマやカットや毛染めなどを好みのスタイルにして頂いています。化粧品なども、以前から使用している物を購入しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理師が1週間の献立をたてており、本人の苦手な食材を把握しており、別メニューで対応しています。希望により、お粥が食べたいと言う方にも提供しています。献立に使用する食材の皮むきなどを慣れた手つきで手伝って頂いています。お盆拭きや、お絞り畳みなどもして頂いています。	畑での野菜の栽培や収穫等で食事が楽しみなものになるよう支援している。また、一人ひとりの好みや力を活かしながら、嗜好の把握や食材の皮むき・配膳・後片付け等職員と一緒にしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	調理師が栄養バランスを考えた1週間の献立をたてています。食事摂取・水分摂取の個人の記録をしており、体調変化などに役立てています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	総義歯の方が殆どで、自ら洗浄行い、全介助の方は義歯洗浄、就寝時消毒洗浄の支援をしています。口腔内に違和感や、痛など訴え時は、歯科往診で診て頂いています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿意が解らず、尿漏れする方もおり、おむつや、パットを使用している方にも、2時間ごとのトイレ誘導して排泄していただいています。又排泄チェックも行い状況を把握出来る様になっています。	一人ひとりの力や排泄のパターンを排泄チェック表で把握し、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分表、便チェックを元に便秘な方には医師から薬や坐薬などを処方して頂き、便秘にならない様、便コントロールしています。又、毎日の牛乳摂取やラジオ体操なども行っています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週3回の入浴日となっていますが、その日の本人の希望により休みたい時などは対応に応じています。色々な色の入浴剤を使い入浴を楽しんで頂いています。入浴時間内でも前半か後半かの希望にも応じています。	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて週3回を目安に入浴の支援をしている。また、入浴の希望など柔軟な支援をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決まっていないので、観たいTVがある時は観て頂き照明も自由にして頂いています。居室の温度や湿度を適切に保つ為の調整をしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の作用、目的などすぐ解る様に個人別にファイルされています。薬が変わったり、経過観察が必要な薬はバイタルチェックをし記録しています。本人にも薬の説明をして理解出来る様支援しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯もの畳んだり、干したり。お絞り畳みや、お盆拭き、日々の生活でする事や、趣味で縫い物、皆さんの前でするラジオ体操や放送などそれぞれの得意分野でして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	自ら外出を希望する方は殆どいない為、季節のドライブや、町内の焼き肉に参加したり、定期通院時などで外にふれ合うようにしています。	入居年数が長期になるにつれ外出の機会は減ってきているが、散歩やドライブ、畑作での野菜の収穫等で戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、町内会行事への参加も支援している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の出来る方は、小銭を持って頂き自動販売機でジュースを買ったりしています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望がある時は、手紙は便せんなど用意し書いて頂き、必要な事に対しては、事務所でお手伝い支援しています。電話も自由に事務所の使える様支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の掃除や季節感の感じられる飾り付け等をし、気持ちよく心地良く過ごせる様に工夫して支援しています。	平屋建て2ユニットのグループホームで共用空間は広く、窓から見える畑の野菜等で季節感を味わえるようになっている。また、歩行訓練を行ったり、行事参加の写真等が掲示されるなど居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人の決まった場所やソファ等で自由に過ごせる様に工夫して支援しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や好みの物を用意して頂き、安全で過ごしやす工夫して配置しています。	居室には、使い慣れた箆笥やソファ、家具が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの取り付け、床の段差をなくし、車椅子の移動がしやすい空間を設けて安全に生活できるように支援しています。		



### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901175		
法人名	株式会社 コスモス		
事業所名	グループホーム 太陽 「やさい」		
所在地	旭川市東旭川共栄29-12		
自己評価作成日	平成25年3月10日	評価結果市町村受理日	平成25年5月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

大雪山連邦が施設から一望できる敷地1000坪に施設の他、約600坪の菜園があり、野菜作りや花の育成を楽しみに、穏やかに過ごすことができます。収穫した野菜は新鮮なうちにお惣菜として並べられ、美味しいと大変喜ばれています。

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_2011\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=0172901175-00&PrefCd=01&VersionCd=022](http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0172901175-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成25年4月27日

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に支えられ、一つの家族になる事を目指し、介護手帳を理解し、各自自覚を持って理念にそった支援をしています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会しており親交を深める焼肉行事に参加したり、当事業所の行事案内状を出しています。近隣の保育園児の散歩の様子を見るのを楽しみにしています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方に太陽通信を配布たり記念行事のご案内を出して参加してもらってグループホーム及び利用者との触れ合いを持つ事で認知症の理解を深めています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のご連絡をご家族や地域の方々に呼びかけています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問点や不明な点を確認したりしています。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はしていません。身体の拘束に関しても、ご本人、ご家族の理解と職員全員が最低限危険のないように周知し、身体拘束がないように努めています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修で学び、職員一人一人自覚を持ち、介護しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見制度等については、テキスト等で学んでいます。利用を必要としている入居者さん家族がいませんが、今後必要となった時に活用できるように勉強会等を通して対応できるようにしていきます。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約、改定時には十分口頭、文書で説明し、署名捺印を頂いている。今後の健康状態で医療行為が必要になった時は、本人、家族に入院になる事を説明し納得頂いています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関の出入り口に投書箱を設置し、入居者さん・家族の意見や要望を把握できるよう月1回確認。職員会議で話し合い、運営に反映させるように努めています。又、家族へのアンケート調査も行なっています。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者、施設長が出席した全体会議を行い運営に関する基本方針、提案を行なっています。職員からの率直な意見を聞き、出来る事は反映させています。他に職員同士の意見交換を行い実現できるようにしています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昇進、昇給の提案の実施。資格取得の奨励、資格取得のための勤務体制、資格手当の支給等、介護の専門職として責任が持てるように職場環境、条件の整備に努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の希望する専門書、月刊誌を購入している。又積極的に介護福祉士・ケアマネの資格取得が出来るような環境づくりもしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のGHの行事にケアマネ、主任、職員が出席して意見交換、入居者の紹介など地域のネットワーク作り支援に努めています。又、社長、施設長が他のGHと介護を取り巻く状況の意見交換にも取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自宅や他施設で生活が困難になった事情を理解し、不安な事、希望される事、要望等を受け止め共有して支援しています。本人の状態に合った信頼関係を築き安心して生活できるように無理なく少しずつ支援しています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が安心して任せて頂けるように要望や不安な事を聞き共感して支援にあたっています。近況を随時報告し、任せて良かったと思われるように努めていきます。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が必要としている支援が何かを見極め状況に応じたサービスと情報提供をしています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は特別視せず自然体で接し、人生の先輩でもあります。共に歩み支えあえる事を自覚し接しています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が安心されるように支援していますが、問題が生じた時は、きちんと報告し一緒に問題に向き合い、共に支えていく関係を築いています。本人にとって家族が一番であることをお話し理解を得るようにしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	長年、家族ぐるみでのお付き合いをされて来た友人、知人が遊びに来られたり、何十年もかかりつけの病院にお連れし、安心されるよう支援しています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	コミュニケーションが取れる入居者さんも少なくなりつつありますが、お互いの部屋に行き来されたり、ラジオ体操やおやつ、レクリエーションの時間は、誘い合い、車椅子を押しながらホールに来られ楽しく過ごされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを退去されても、ご家族から電話が入ったり、病院などでお会いし、状況を聞き、良い関係を保てるように努めています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望、意向の把握に努めていますが困難になってきた時は、ご家族の協力を得ながら本人の希望と意向に沿えるように努めています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活歴や今までの暮らし方を尊重し、趣味などを楽しんで頂けるように努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の体調を見極め食事、ラジオ体操、行事、入浴など本人のペースに合わせられるように努めています。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族やご本人の希望や意向をお聞きすると共に現場で直接介護する介護員に話しを聞いたり、カンファレンスを開いて介護計画に反映しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、体調変化など個別に記録し、職員間で情報を共有しながら実践し介護計画の見直しに努めています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や家族のご希望があれば、一緒に食事や宿泊をして頂いたり、状況やニーズに対応できる支援やサービスの多機能化に努めています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練に地域の方に参加して頂いたり、町内の焼肉パーティーに参加させて頂いたりして楽しく暮らせる支援に努めています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望により、昔からのかかりつけで信頼できる病院、医師の診察を受け、健康状態に応じ、ご家族と連絡を取り、検査や手術など適切に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の医療相談時に気付いた事、変化が見られる事は相談し、早期発見・早期治療に心がけています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人が安心して入院生活が過ごせるようにアセスメントを提供し入院時のご本人の今までの状態の説明、ご家族との連携を取りながら病院のソーシャルワーカー・医師と話し合いを設けています。ホームの受け入れ対応を医師・ご家族のカンファレンスに同席させて頂くようにしています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時の説明で、必ず訪れる重度化や終末期に、医療行為や食事が摂れず、ベグを希望された時や入院が30日以上治療長期療養されてもホームでの生活が困難時には、ご家族、医師、ご本人の希望を含め対応しています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年2回の避難訓練で、応急処置や救急車が到着するまでの対応を全員できるように支援しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回夜間を想定した訓練を行なっています。近隣の保育園と避難場所の協力体制を築いています。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重しながら尊厳や誇りを損なわないように気遣いながら対応するように心がけています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に声かけをして自己決定できる方には自分の思いや希望をお聞きして信頼関係が築けるように努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活ペースに合わせて楽しく過ごして頂けるように工夫して支援するように心がけています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容師さんに来て頂いてカット・パーマして頂いたり服装などもできるだけ自分で選べるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養バランス、一人一人の体調に合わせ、お粥、きざみ、など工夫し食の進まない方には声かけをして楽しく食事して頂けるように努めています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量、塩分、水分などの確認できるよう掲示したり、食事、水分量を個人別に記入し活用しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性を職員が認識し、個人に合ったケアを支援し義歯の方にはブラッシングと洗剤で消毒・洗浄を行なっています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	不快な思いを極力させないようにトイレで排泄できるよう自立支援しています。排泄チェック表で状況を把握できるように工夫しています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・水分摂取量、排便チェック表で把握し個々に応じた運動などで予防し、主治医の指示により服薬調整を行なっています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	週3回入浴ですが、そのつど臨機応変に対応しています。色々な入浴剤で気分を変えて楽しんで頂けるなど工夫をしています。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ホール・居室などで自由に休息できるよう支援しています。温度・湿度を調節し気持ちよく休んで頂けるように努めています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書で目的・副作用がいつでも確認できるよう保管し、服用時には、名前を確認して誤薬のないように努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々にできることを協力して頂いています。又カラオケ、将棋、風船バレーなどで楽しんで頂けるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日はドライブに行ったり、お花見・散歩等ができるように声かけをして多くの方に参加して頂き楽しんで頂けるように支援しています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金は基本的に事務所でお預かりしていますが、必要、希望に応じて使えるように支援しています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族や知人に本人の希望により電話をしたり手紙のやり取りができるよう支援しています。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除や季節感の感じられる飾り付け等をし、気持ちよく居心地良く過ごせる様に工夫して支援しています。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人一人の決まった場所やソファ等で自由に過ごせるように支援しています。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた家具や好みの物を用意して頂き、安全で過ごしやすく工夫して配置しています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりの取り付け、床の段差をなくし、車椅子の移動がしやすい空間を設けて安全に生活できるように支援しています。</p>		



### 目標達成計画

事業所名 グループホーム太陽

作成日: 平成 25 年 5月 7日

#### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	御家族と包括職員、市職員の都合の良いが合わず開催ができない事がある。	二ヶ月に一回定期的に各部署のメンバーが揃って地域推進運営会議を行なう事ができる。	先々に予定を立てて、参加の都合がつく様にしていきたい。	1年
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。